

「大造じいさんとガン」

定期テスト対策練習問題①

年	組	番	名前

問1 「残雪」が、そのような名前をつけられたのはなぜですか。「...から」と続くように本文からぬき出して答えましょう。

問2 (第6段落・4行目) 「この残雪が来るようになってから、一羽のガンも手に入れることができなくなったので」と書かれています。それはなぜですか。その理由が書かれている一文を本文から抜き出して、最初の8字を答えましょう。



問3 「いまいまして思った」という言葉を正しく使っている文を、次の中から選びましょう。

- ア：誕生日になればプレゼントをもらえるので、いまいまして思った
- イ：あの犬に邪魔されなければ時間に間に合ったのにと、いまいまして思った
- ウ：大好きなテレビ番組の時間に間に合うように帰らなくてはと、いまいまして思った
- エ：可愛がっていたペットの魚が死んでしまって、いまいまして思った

問4 (第8段落・9行目) 「それは、いつもガンのえをあさる辺り一面にくいを打ち込んで・・・」と書かれています。 「それ」が指す言葉を本文からぬき出して14字でこたえましょう。



問5 (第9段落・13行目) 「じいさんはむねをわくわくさせながら、ぬま地に行きました。」と書かれていますが、このときの大造じいさんの気持ちを表したものとして、もっとも正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

ア：あのりこうな残雪と今年も勝負するのが楽しみだ。

イ：たくさんのガンがぬま地に来ているにちがいない。

ウ：今年こそは、ガンがしかけにかかっている気がするぞ。

エ：もしかしたら、ついでにウナギがかかっているかもしれない。

問6 (第9段落・4行目) 「じいさんは、思わず子どものように声を上げて喜びました。」と書かれていますが、それはなぜですか。「…から」と続くように本文からぬき出して答えましょう。



問7 (第11段落・2行目) 「ガンの群れは、これに危険を感じてえさ場を変えたらしく」と書かれています。 「これ」が指す内容としてもっとも正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

- ア：えさ場一面にくい打ちこまれていたこと
- イ：昼近くになってじいさんがぬま地に来たこと
- ウ：じいさんが声をあげて喜んだこと
- エ：しかけにかかったガンがバタバタしていたこと

問8 (第12段落・6行目) 「その翌日、昨日と同じ時刻に、大造じいさんは出かけていきました。」と書かれています。 このときの大造じいさんの気持ちを表したものとして、もっとも正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

- ア：ガンをつかまえたばかりだから、まだガンは寄り付いていないかもしれない。
- イ：今日は昨日よりもたくさんのガンがかかっているかもしれないぞ。
- ウ：毎日こうやってぬま地に来るのは大変だ。
- エ：昨日のような幸運はそう続かないだろうな。



問9 (第14段落・9行目) 「じいさんは、「はてな」と首をかしげました。」と書かれています。その理由を説明したもので、もっとも正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

ア：昨日は他に一羽も見えなかったのに、今日はガンの大群が来ていたから。

イ：じいさんがすがたを現したとたん、ガンの大群が飛び立ったから。

ウ：危険を感じていたはずのガンが、えをあさった形跡があるから。

エ：えをあさったはずなのに、一羽もしかけにかかっていないから。

問10 (第17段落・1行目) 「ぐうと引っ張ってみてから、いじょうなしとみとめると」と書かれています。「いじょうなし」とはどういうことか、もっとも正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

ア：つりばりの糸の先に、ちゃんとタニシが付いていること

イ：しかけのついていないタニシだということ

ウ：他のガンが、自分のくわえたタニシをねらっていないこと

エ：近くに、大造じいさんがかくれていないこと



問 1 1 (第 17 段落・5 行目) 「大造じいさんは、思わず感嘆の声をもらしてしまいました。」と書かれています。 「感嘆の声をもらす」の意味として正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

- ア：感心のあまり、声が出ること
- イ：悔しさのあまり、ため息をつくこと
- ウ：悲しくて、うめき声を出すこと
- エ：驚きのあまり、声が出ること

問 1 2 (第 18 段落・7 行目) 「どうしてなかなか」という言葉は、この文章の中でどういう意味をもっていますか。もっとも正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

- ア：ガンは思ったよりもりこうだということ。
- イ：りこうでないはずのガンが、なぜ、ちえをもっているのかということ。
- ウ：ちえをもっているガンなのに、どうしてりこうでないといわれているのかということ。
- エ：ガンがどのくらいりこうなのか、なかなかわからないということ。



問 1 3 (第20段落・12行目) 「大造じいさんは…(中略)…タニシを五俵ばかり集めておきました。」と書かれています。その理由としてもっとも正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

- ア：ガンを捕まえるしかけに使うため
- イ：ガンを自分になつかせるため
- ウ：ガンをおびきよせるため
- エ：ガンの群れが食べ物に困らないため

問 1 4 次の言葉の意味を、それぞれ選び○でかこみましょう。

【あんばい】 ア：失敗
 イ：具合
 ウ：原因

【案の定】 ア：思った通り
 イ：意外なことに
 ウ：なぜか

【会心のえみ】 ア：気持ちを入れかえた笑顔
 イ：今までで一番の笑顔
 ウ：思い通りになって満足した笑顔



問15 (第22段落・6行目) 「そこが、いちばん気に入りの場所となったようでありました。」と書かれていますが、「そこ」とはどのような場所ですか。本文の言葉を使って答えましょう。

問16 (第23段落・7行目) 「大造じいさんは・・・会心のえみをもらいました」と書かれていますが、その理由としてもっとも正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

ア：大造じいさんが集めたタニシを、ガンが喜んで食べたから

イ：五俵も集めておいたおかげで、タニシがじゅうぶんに足りたから

ウ：集めたたくさんのタニシを、ガンがすべて食べてくれたから

エ：ガンが同じ場所に集まるようになったから



問 17 (第26段落・12行目) 「ぬま地にやって来るガンのすがたが、かなたの空に黒く点々と見えだしました。」と書かれています。ガンがぬま地にやって来たのは、いつですか。次の中から選び○でかこみましょう。

ア：大造じいさんが小屋にもぐりこんだ夜の間

イ：大造じいさんが小屋にもぐりこんだ次の日の朝

ウ：大造じいさんが小屋にもぐりこんだ次の日の昼

エ：大造じいさんが小屋にもぐりこんだ次の日の夕方

問 18 (第28段落・4行目) 「りょうじゅうをぐっとにぎりしめた」と書かれています。この時の大造じいさんの気持ちとしてもっとも正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

ア：ずっとガンをしとめられなかったので、撃つのが怖くなっている

イ：ずっとガンを待っていたので、待ちくたびれて気がちっている

ウ：ガンの群れに向かって撃つのは、申し訳ないと思っている

エ：今度こそしとめるぞ、と思って緊張している



「大造じいさんとガン」

定期テスト対策練習問題①（解答）

問1 左右のつばさに一か所ずつ、真っ白な交じり毛をもっていた（から）

問2 残雪は、このぬま

【解説】抜き出す一文は、「残雪は、このぬま地に集まるガンの頭領らしい、なかなかりこうなやつで、仲間がえをあさっている間も、油断なく気を配っていて、りょうじゅうのとどく所まで、決して人間を寄せつけませんでした。」

問3 イ

【解説】「いまましい」とは、「くやしく、腹立たしく思うこと。しゃくにさわること。」

問4 かねて考えておいた特別な方法

問5 ウ

問6 生きているガンがうまく手に入った（から）



問7 エ

問8 イ

【解説】「たかが鳥のことだ、一晩たてば、またわすれてやって来るにちがいない」から、大造じいさんは「ガンがまたしかけにかかるはず」と思っていることがわかる。

「昨日よりも、もっとたくさんのつりばりをばらまいておきました」から、「昨日よりも今日はもっとたくさんのガンがかかるかもしれない」と考えるだろうことがわかる。

問9 エ

問10 イ

問11 ア

問12 ア

【解説】「どうしてなかなか」とは、それほどでもないと思っていたものが、実は思っていた以上だったときに使う言葉。



問 | 3 ウ

【解説】大造じいさんは、タニシを何日か続けて同じ場所にたくさんまいておくことで、その場所がガンのお気に入りになるようにした。よって、「ガンをおびきよせるため」がもっとも正しい。

問 | 4 【あんばい】 イ

【案の定】 ア

【会心のえみ】 ウ

問 | 5 (例) 大造じいさんがタニシをばらまいた場所

問 | 6 エ

問 | 7 イ

【解説】「あかつきの光が、小屋の中にすがすがしく流れこんできました。」と書かれているので、ガンがやってきたのは次の日の朝。

問 | 8 エ



※当テストでは、著作権侵害を避けるために本文の掲載を控えています。

問題・解答の内容が本文のどこにあるのかを示すために、段落と教科書に掲載されているページ上の行数を表記しています。

